

事務事業名		道路環境整備事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	公共維持G	課長名	渡部 克彦	
	施策名	(12)生活道路の整備		担当者名	狩野 久志	電話番号	0854-40-1063	
	目的	対 象	A)市民(道路利用者) B)生活道路(市道)	意 図	市内を安全に移動できる。			
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理		予算科目	会計 014002	大 事 業 名	道路施設管理事業	
目的	対 象	道路利用者	意 図	安全に移動できるように道路を維持管理し、情報を発信する。			中 事 業 名	道路維持修繕実施事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (25年度~)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
<p>・道路維持管理計画に基づく、道路パトロール及び簡易修繕等を直営で行うため、臨時職員を採用する。</p> <p>採用した臨時職員、職員、地元住民、協定を結んだ郵便局職員からの情報に基づき簡易修繕等箇所を選定。</p> <p>・上記選定箇所の簡易修繕、除草及び支障木伐採等を臨時職員が実施。</p> <p>・本事業実施に伴う予算執行(臨時職員賃金、材料費等の修繕経費の支出)。</p> <p>※各総合センター毎に実施したが、平成28年度より本庁で業務を行う。</p>	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・臨時職員の募集及び採用 ・道路パトロール ・修繕(補修)、除草及び支障木伐採等		30年度計画(30年度に計画する主な活動) ・平成30年度より除草作業について外部委託を行う ・臨時職員の募集及び採用 ・道路パトロール ・修繕(補修)、除草及び支障木伐採等		
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
ア	作業実施件数(H28~修繕)	件	1,149	224	250	120
イ	雇用人数	人	14	18	16	5
ウ	延べ雇用日数	日	2,313	2,243	2,235	640
エ	支払件数	件	416	387	464	300

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	①生活道路の利用者 ②簡易修繕が必要な生活道路等	ア	人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		イ	市道延長	km	1,158	1,160	1,112	1,112
		ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	①市内を安全で迅速に移動できるようにする。	ア	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	60.0	71.9	69.2	59.5
	②修繕(補修)等を実施する。	イ	生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	71.0	51.7	53.3	70.5
		ウ	作業実施件数(修繕)	件	1,149	224	232	150

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【非常勤職員報酬】1,700千円 【臨時職員賃金】17,108千円、 【報償金】126千円 【消耗品費】1,685千円、【燃料費】1,561千円、 【光熱水費】5千円、【修繕費】202千円 【手数料】27千円、 【保険料】51千円、【賃借料】958千円、 【工事材料費】957千円 【機械器具費】394千円【補償金】5千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	20,047	21,619	24,779	26,957
	事業費計(A)	千円	20,047	21,619	24,779	26,957
	正規職員従事人数	人	14	7	7	
	延べ業務時間	時間	1,220	560	560	
	人件費計(B)	千円	4,775	2,222	2,283	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	24,822	23,841	27,062	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<p>・平成21年度から平成24年度の4年間、国の緊急雇用創出事業を活用した、公共リフレッシュ事業を実施し、簡易修繕の要望に応じていたが、平成24年度で終了した。</p> <p>・要望箇所の簡易修繕の迅速性、雇用対策及び事業効果を考慮し、平成25年度より本事業を実施してきている。</p>	<p>・各総合センターでの雇用人数が均等になるよう調整を図っている。</p> <p>・道路維持に関し、非常に有効な事業であるため、平成26年度より拡充を図っている。</p>	<p>・市民から修繕要望がある。</p> <p>・市民から修繕実施について喜びの声がある。</p> <p>・議会から、除雪オペレーター確保のため、本事業の有効活用を求められている。</p> <p>・高齢化によりボランティア作業の対応が出来ない箇所の除草の必要性が指摘されている。</p>

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由	・道路パトロールにより修繕箇所、除草箇所や要望箇所等を把握し、計画に基づき簡易修繕等を行っているため、成果は既に最大である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由	・廃止すれば、迅速な道路維持管理ができなくなる。 ・市民からの簡易修繕要望に応えられなくなる。 ・臨時職員の雇用は、雇用対策の一環を担っている。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由	・迅速かつ予防的な維持管理が可能な類似事業はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	・道路維持管理等に必要な経費である。 ・簡易修繕要望箇所は多く、本事業の拡充を望む声がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	・道路維持管理等に必要な経費である。 ・簡易修繕要望箇所は多く、本事業の拡充を望む声に対応が必要である。 ・既に臨時職員を採用し対応しており、人件費の削減余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由	・市内全域の道路維持管理を行うものであり公平である。 ・市が行うべき道路維持管理であるため、受益者負担はない。
	① 1次評価者としての評価結果	
評価 の 総 括	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) ・本事業は市民、議会及び職員にも事業効果について理解を得られていると考えている。 ・対応できなかった簡易修繕、除草作業及び支障木伐採等を迅速に行うことができ、道路利用者の安全が確保できる。 ・臨時職員の雇用が、除雪オペレーター確保や就業率の一環を担っている。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
・平成25年度からの継続事業であるが、高齢化等により除草作業等のボランティア作業量が減少する中、リフレッシュ事業に変わる必要不可欠な位置付けの事業となっている。 ・除雪と道路維持の臨時職員を年間を通して雇用することで、オペレーター確保が図られている。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																						